

函館生涯学習インストラクターの会

情報誌 平成24年度(第7号) 11月15日発行

会長 島貫 徹彦

編集責任者 浜田 愷

☆ネット情報 {報告・情報・連絡}

- | | | | |
|---|--------|--|-------------|
| ☆ | 10月18日 | 月例研修会「北海道開拓と移住」 | 講師 会員 種田義信氏 |
| ☆ | 10月21日 | 道民カレッジ連携講座「キノコから道南の自然を見る」 | 講師 石垣充一 会員 |
| ☆ | 10月26日 | 移住者交流会「函館の気象と火災」 | 講師 種田義信 会員 |
| ☆ | 11月 8日 | 第16方面民生児童委員会教養研修
役員会(ともえシニアカレッジ開講準備経過等最終確認) | 講師 種田義信 会員 |
| ☆ | 11月15日 | 月例研修会「経営実践論からの世相講談」 | 講師 井戸重利 会員 |
| ☆ | 11月16日 | 放課後子供教室(南本通小学校) | |
| ☆ | 11月20日 | 24年度 ともえシニアカレッジ 開講
第1回 『明治期“国際結婚”した道南函館の女性』
講師 道南女性史研究会 代表 酒井嘉子氏 | |

☆広場の声【自らの感じ、気づいたこと(随筆・旅行記・文芸)】



私とリビング・ウィル

高橋 良子

二十年以上前になるだろうか・・・、一枚の紙を前に私は思いをめぐらす。
ある研修会で自分の弔辞を書いたことがある。あなたは何歳で、何月に死ぬのか、臨終の場はどこで、どんな様子か、そばに誰がいてあなたはその人に何といい、その人は何と言うだろう・・・と質問が続き、さあ～あなたはいよいよ死にました。
あなたへの弔辞を書いてください・・・というものです。
私たちは、「ホスピス病院・ホスピス病棟」の開設をめざし、「命に寄り添う看護」とは何かを研修中でした。

医療の現場では、「死」はタブーとされ、死を語ることは好まれませんでした。ハイテク高度医療の普及によって救命困難者も救われるようになり、人類におおきな恵みをもたらすと同時に、このことによって持続的植物状態の人のように「死ぬことの

できない生命」が誕生するなど、医療の現場ではさまざまな困難が生じてきました。

昭和天皇の崩御や、東海大事件などがあり、医療者のみならず一般の人々の間にも「どういう死に方をするか」が語られるようになり、自分の死に方は自分で決めるという意識が徐々に高まってきた時代でありました。

インフォームド・コンセントや、セカンド・オピニオン等が普通に語られ始めましたが、終末期を迎えた患者は、自分がどのような治療を望んでいるか治療者側に伝えることができないことがしばしばです。そのような事態に備えて、事前に自分の意思を表明する手段としてリビング・ウィルがあります。

リビング・ウィルはインフォームド・コンセント（患者への十分な説明と、それに基づく同意）と並ぶ患者の権利として位置づけられています。

尊厳死協会によれば、尊厳死とは、傷病により「不治かつ末期」になったときに、自分の意思で、死にゆく過程を引き延ばすに過ぎない延命措置をやめてもらい、人間としての尊厳を保ちながら死を迎えることです。

リビング・ウィル

私は、私の傷病が不治であり、且つ死が迫っている場合に備えて、わたしの家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望を宣言いたします。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にあるときに書いたものであります。

従って、私の精神が健全な状態である時に私自身が破棄するか、また、撤回する旨の文章を作成しない限り有効であります。

- ① 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、すでに死期が迫っていると診断された場合には徒に死期を引き伸ばすための延命措置は一切おことわりいたします。
- ② 但しこの場合、私の苦痛を和らげる処置は最大限に実施してください。其のために、たとえば麻薬などの副作用で死ぬ時期が早まったとしても一行にかまいません。
- ③ 私が数ヶ月以上に涉って、いわゆる植物状態に陥ったときは、一切の生命維持装置を取りやめてください。

以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げます。

ると共に、その方々が私の要望に従って下さった行為の一切の責任は私自身にあることを附記いたします。

年月日・氏名・生年月日・住所

あの研修の日から二十数年過ぎ、あの時貰ったこのリビング・ウィルのこの文章が書き換えられたかどうか、わたしは知しらない。

ただ、毎年、誕生日にこの紙にサインしてエンディング・ノートに挟むのが長い習慣になっている。